

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月06日(木)

事務事業		消防通信指令事業		担当課	指令課	担当係	第一指令係	管理番号	53111	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	電波法令					
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		市民からの通報に対して迅速な災害現場の把握や各出場隊への的確な指令運用を行うため、各施設・設備の保守点検及び維持管理を充実させ、指令システムの機能保全を行うものである。								
目的 ※何のために		迅速な災害現場の把握、各出場隊への的確な指令運用の充実。								
対象 ※誰・何を対象に		消防通信指令に係る各施設・設備。								
手段 ※どのように		保守点検及び施設の維持管理を行う。								
成果 ※何を求めるか		指令システムの機能保全。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	9	消費費	1	消費費	3	消防施設費	消防通信指令事業	40,581,984
本事業の 主な業務		・ 119番受信と各種災害指令及び無線通信運用				・ 住基データと対象物調査				
		・ 保守点検(指令システム・デジタル無線)業務委託				・ 住民への医療機関情報提供				
		・ 各指令設備及び無線設備維持管理				・ N E T 119運用に関する普及啓発活動				
		・ 位置情報通知システム(統合型N T T固定電話)業務委託				・				
		・ 無線従事資格と無線免許の申請及び管理				・				
		・ 携帯・I P・固定局発信者情報照会件数の集計管理				・				

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		指令システム保守点検 指令システム通信費 指令システム部分改修費	指令システム保守点検 指令システム通信費 指令システム部分改修費	指令システム保守点検 指令システム通信費	指令システム保守点検 指令システム通信費		
事業費	予算(現額)	44,653,000	41,760,000	32,551,000	104,807,000		
	決算額	44,567,415	40,581,984	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
人件費	他特定財源	8,960,000	9,357,240	6,992,000	91,896,000		
	一般財源	35,607,415	31,224,744	25,559,000	12,911,000		
人件費		従事職員数(人)	3.70	3.70	3.70		
人件費		人件費相当試算※	29,117,361.00	29,637,611.00	30,935,330.00	30,935,330.00	
総事業費試算		73,684,776	70,219,595	63,486,330	135,742,330		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	指令システム保守点検	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		実績値		2.00	2.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			指令システムを安定的に機能させるため、年2回の保守点検を目標とする。 / 保守点検回数					
	実績値の算出式				2	2			
成果指標 1	通報支障回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			119番を支障なく取得するのが目的であることから0を目標とする / 支障回数					
	実績値の算出式				0	0			
活動指標 2	119番取得率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			119番通報の100%取得を目標とする / 取得数／総受信数					
	実績値の算出式				15209	15909			
成果指標 2	119番受信1件費用	目標値	円						
		実績値		2,930.00	2,550.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			緊急電話のため、一件当たりの費用について目標値の設定は出来ない / 総事業費／総受信数					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	指令システムを滞りなく稼働させるため、職員による日常点検及び業務委託による24時間365日対応可能な保守管理を行った。119番の受信、出場部隊の選択、出場指令を迅速に行うとともに、有効な支援情報を出場隊へ確実に提供するため、指令システム及び施設を適正に維持管理を行い、迅速、確実に災害通報の対応ができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	指令システムを24時間365日支障なく稼働させ、市民からの通報に対して、迅速、確実に災害現場を把握、的確な指令運用が行えた。また、今後も職員のスキルアップを図るとともに、指令システムの効率的なデータ更新を継続、指令システムの機能保全を実施していきたい。
			評価者 指令課 第一係長 武政英雄

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	指令システム24時間365日支障なく稼働させ、市民からの通報に対して、迅速、確実に災害現場を把握、有効な支援情報を出場隊に提供することができた。確かな指令運用が行えた。 NET119の普及啓発のため、福祉のイベントに参加、オンライン申請を実施した。
			評価者 指令課 第一係長 武政英雄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	災害時における情報伝達に極めて重要な役割を持つ通信指令システムを適正に運用するため、定期的な保守点検等を継続して行い、高機能消防指令システム更新については、財政面で相当な負担となることから、将来の消防需要を見極めながら、最も効果的な適正更新ができるよう方策についての調整と検討を進める。NET119の普及啓発について継続して行う。
達成状況及び その効果	指令システム部分更新により、指令業務が停止するなどの支障は発生しておらず、迅速、確実に市民からの災害通報に対応できた。NET119の普及啓発のため、福祉のイベントに参加、オンライン申請を実施した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防通信指令事業	担当課	指令課	担当係	第一指令係	管理番号	53111
<div><div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div></div>		評価の内容説明					
		職員による日常点検及び業務委託による24時間365日対応可能な保守管理を行い、指令システムを適正に管理することができた。また、指令システムの部分改修をしたことにより機能保全ができた。今後も、指令システムの維持管理について調査研究を重ね、適正な更新を進めていく。 NET119の普及啓発は、福祉のイベントに参加し、オンラインの申請が実施された。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	指令課長 吉田 実				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	災害時における情報伝達に極めて重要な役割を持つ通信指令システムを適正に運用するため、定期的な保守点検を継続して行い、また、高機能消防指令システム等の更新については、財政面で相当な負担が掛かることから、将来の消防需要を見極めながら、最も効果的な適正更新ができるよう事業方策についての調査及び検討を進める。 また、指令システム等におけるマニュアル等の統一化を図りICT化への対応を進めていく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	高機能消防指令システムの更新について、適正な更新が行えるように継続して事業方策について、協議及び調査、検討を重ねていく。

8. 評価指標グラフ

